



注目! 話題の新製品
Topics

スリムタイプのIEC端子で使える範囲を拡大 アナログの静電気と音質向上の有効策 NCF採用の最上級電源ケーブルの魅力

世界中のプロからアマチュアまで、その優れた性能が広く支持されるフルテックの特殊素材、NCF。本モデルはラインアップ拡充が進むNCFによる、新開発のスリムタイプコネクタを採用した最高峰電源ケーブル。端子が狭い場所にあっても従来の丸形端子だと挿せなかった機器も、本品ならば使用可能。NCFと最高峰の設計がアナログ再生にもたらす効果を、角田氏が自宅の愛機でレポートする。

Text by
角田郁雄
Keita Tamada
Photo by 田代法生

FURUTECH Powerflux -C15 NCF-18

電源ケーブル
¥338,800 / 1.8m(税込)



Specifications

●接続部 端子部：プラグ(カーボンファイバー-NCF仕様)→FI-50M NCF(R)、IECコネクタ(スリムタイプのカーボンファイバー-NCF仕様)→OF-C15 NCF(R) (※単独販売未定) ●特殊素材 [NCF]はプラグがボディ部に適合。ナノ単位のセラミックパウダー、カーボンパウダーによるこれまでの強力な制振効果に加え、静電効果を向上 ●端子接点：非磁性ロジウムメッキ ●ケーブル素材：α-銅体(OCC素材)の高密度導体 ●絶縁材：カーボンパウダー調合の高機能PVCを用いた2重シース構造(振動と外部からのノイズを遮断するとともに柔軟性を合わせ持つ) ●ケーブル直径：約 17.5mm ●規格：15A 125V~(日本/米国/カナダ等)、10A 250V~(欧州連合地区)

フルテックは静電気と振動の低減に効果を発揮する特殊素材NCFを研究開発し、現在、製品数を拡張中だ。今般はNCF効果をフルに投入した最新ハイエンド電源ケーブル、Powerflux-C15 NCF-18を登場させた。そのNCFについて、個人のアナログ再生での実体験を最初に紹介しておこう。読者も「存知のように、レコード再生に静電気は大敵と言える。スクラッチノイズを発生するからだ。静電気はレコードへの帯電だけではなく、プレーヤーやフォノイコライザーに帯電することもある。その解決策として、私はトーンアームケーブルをNCF Boosterr-Signall-Lで置き、付属のバンドで密着固定した。プレーヤーのキャビネットからの静電気も、アームからケーブルへと伝わりと推察したからだ。実際の使用ではケーブルも効果を感じたが、どうしてもクレイドルと針接触になるのでパン

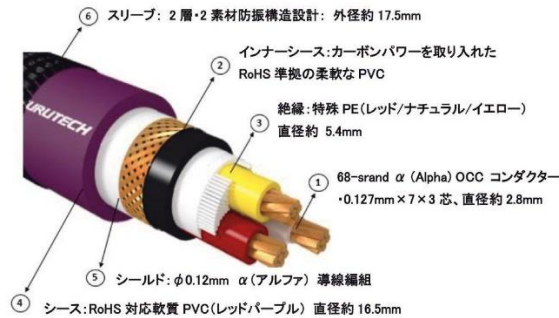
NCFが磁力を發揮する
静電気と振動の低減効果



トランスローターのアナログプレーヤー「RONDINO」と電源ユニット

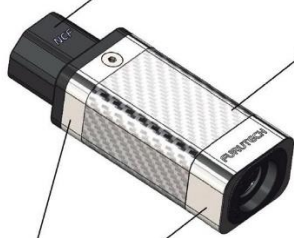


トーンアームケーブルをフルテック「NCF Booster-Signal-L」(¥17,908、税込)で支え、付属のバンドで密着固定



ケーブル部の仕様と構造図

(1) 電極本体: 「NCF」反共振減衰素材(ナイロン/グラスファイバー)にナノサイズの結晶性セラミックパウダー & カーボンパウダーを調合配合の樹脂インジェクション絶縁本体。ロジウムメッキ α (アルファ) 純銅導体。



(2) ハウジング: 多層ハイブリッド NCF カーボン ハウジングは、NCF 絶縁インナーフレームを含む非磁性ステンレス製ハウジング上にハイブリッド NCF シルバーメッキ 3k カーボン ファイバーの別の層を重ねたハード クリア コーティングで構成されています。最高の制振材と絶縁材により、周波数の伸びと音色のバランスが改善されます。

(3) 非磁性のステンレス製ハウジング。メインケーブル固定クランプ (ステンレス製) は、グリップを向上させ、機械的および電気的誘発される歪みを低減します。

新開発のハイエンド パフォーマンス IECコネクター部「CF-C15 NCF (R)」の構造図 (単売は未定)



「Powerflux-C15 NCF-18」をプレーヤーの電源とフォノEQの両方に使うと、さらに効果が顕著に!

ラムスの響きもクリアになり、私の望むリアルな響きとなった。さらには音の滑らかさや豊潤な倍音が聴け、EA・1200の本当のMCバランス伝送の良さや音質の良さが発揮されたように思えた。その後、プレーヤーの設置やカートリッジの取り付けなどを点検し再び再生。すると、とてもレコードとは思えない静寂感や、テープレコーダーに迫る滑らかな立体空間が再現された。

ドで密着固定した。その結果、最大限の効果を実感した。現在では他の再生機器においても、エッセンスシヤルなアイテムとなっている。

一方、電源ケーブルでは静電気低減効果は必要ないのではと思いい、従来から愛用のケーブルを使ってきた。しかし本製品を実際に使い、考えを改めた。特に私のプレーヤーの一つは、ドイツのトランスローター社のロンドン (別筐体ドライブユニット) によるプラッター非接触磁気ドライブ方式 (TMD) で、

キャビネットはアクリル製なので帯電する。ゆえに前述のNCFの効果は大きく、手で触ってもパチッという衝撃を受けなくなった。

では、別筐体の強力なりニア電源ユニットに本製品を接続するとどうなったか。ドラマティックに聴感上のS/Nが向上し、ノイズフロアに埋もれていた微細音が浮き上がった印象を受けた。解像度とダイナミックレンジが拡張された感覚になったのだ。おそらくは愛用の電源ケーブルは樹脂製の外被で、両

端端子も樹脂ボディであるから帯電していたと推察された。結果としてより滑らかな回転が実現したようで、プラッターの慣性力が高まった印象も受ける。

プレーヤーとフォノEQともアップグレード効果を発揮

本製品の仕様は別記のとおりだが、ノイズ低減ユニットも搭載され、高純度銅線と嚴重なシールド構造により、電源ケーブル内部のノイズ低減にとどまらず、外部への輻射も低減しているから、これだけの効果が得ら

れるのであろう。しかも端子はNCF採用で、アースジャンパーにより、アースからの静電気も低減させている。

こうなってくると、愛用のフエズメーションの管球式モノラルフォノイコライザー、EA・1200でも効果は大きいだろうと推察し、もう一本追加接続した。その結果さらに解像度が高まり、空間にリアルな演奏のさまが描写された。特にシンバルは研ぎ澄まされた鮮烈な響きとなり、高域が拡張されたような印象を受けた。ベースやドラムスの響きもクリアになり、私の望むリアルな響きとなった。さらには音の滑らかさや豊潤な倍音が聴け、EA・1200の本当のMCバランス伝送の良さや音質の良さが発揮されたように思えた。その後、プレーヤーの設置やカートリッジの取り付けなどを点検し再び再生。すると、とてもレコードとは思えない静寂感や、テープレコーダーに迫る滑らかな立体空間が再現された。

NCFの登場以来、私は静電気の低減に気を配ってきた。そして、レコード自体の除電だけでは不十分だと理解した。アナログ再生においては、特にプレーヤーとフォノイコライザー周辺の静電気低減が重要だ。本製品はコンパクトな直方体IECコネクターの採用で使いやすさも増した。システムをアップグレードしたい読者は、ぜひ一度試して欲しい。